



発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代 1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子

小網代通信

2021年 5月号 VOL-275

今月の内容

<KYC 会長 野村政司からのメッセージ>

— 新型コロナ対応について(2021年5月現在) —

東京都の緊急事態宣言が延長されました。

引き続きクラブ対応(1/6版)に則り、クラブ行事については可能な限り延期又は中止いたします。(対象期間:本発令解除まで)

各艇の活動は制限するものではございませんが、整備等でやむをえずクラブハウスを利用される場合は、トイレや洗面などの一部の利用のみとし、手指消毒・マスク着用・換気などの徹底をして感染予防にご留意いただきますようお願い致します。

引き続き大事なヨットと小網代の仲間を守っていきましょう。

・連絡事項	編集委員	1ページ
・「あ！小網代メンバーの皆さん、たいへんですよ！」		
エピソード1(小さなゲスト?)	松山 麻里 (シンシア)	2ページ
エピソード2(小さいけど、ちょっとね！<ゲジ>)	クラブハウス委員	2ページ


連絡事項(編集委員)

1. <小網代艦隊、シーボニアに集結？..今年のGW>

会長メッセージにあります通り、新型コロナのおかげで、せっかくのゴールデンウィークも昨年同様楽しい休日を謳歌する...わけにはいきませんでした。にもかかわらずGW中、クルージングに多くの艇が出かけているわけでは無いのに小網代泊地にいる艇の数が心なしか少なく見えました。ではどこに？という...シーボニアのヤードに舷を並べて小網代メンバー艇がいっぱい、どの艇も自粛期間を利用して長い整備に充てている様子、確かに心置きなく上架整備できる機会はめったにありません、コロナからの時間のプレゼントなのかもしれません。

2. <棧橋の交換計画が進んでいます>

棧橋の交換計画は新型コロナの影響で滞っておりましたが、今年に入り、方向が見えてまいりました。コロナ禍が落ち着き、新しい(中古ですが)棧橋が利用できる様になるのが楽しみです。

【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 5月17日(月)20:00～ web 会議開催予定】

「あ！小網代メンバーの皆さん、たいへんですよ！」

【 エピソード1 】 「 小さなゲスト？ 」

シンシア 松山 麻里

小さなゲスト…シンシアに2年続いて迎えた小さなゲストのはなし。
昨年7月、セーリング中の相模湾の真ん中で、何かが聞こえる、
えー？何？何がいるの？って大騒ぎ。
まさかこんな小さなゲストが乗っているとは。
それもアンカーウエルの中に…ヒナ鳥が！



親鳥は？小網代？
どうする？育てる？鳥の子育て経験の知恵を借りてなんとかならないか考えてみたものの、親鳥の代わりにはなれなかった。
水葬。ごめんね。



そして今年4月船の大掃除をした日に、まさかの出来事。なんと同じところに巣が、そして今回は卵だった。



出入口はしっかりタオルで封鎖していたつもりが、ほんのわずかな隙間から親鳥は出入りして、巣を作り、卵を産んでいた。
デッキを歩く足音でチドリ？の親鳥は逃げてしまった。
残されたのは卵。
こんな安全な場所ではなかったのかもしれないが、
実は安全ではなかった。

そして今年もごめんね。
親鳥が来ることを願って、桜の木の根元に。



【 エピソード2 】 「 小さいけど、ちょっとね！<ゲジ> 」

クラブハウス委員

小網代は自然の宝庫なので当然ですが。
クラブハウスができた頃は、よくご対面しましたゲジゲジ。
昨年から今年にかいけハウスを訪れる人も少なくなっていたので悠々自適に暮らしていたのでは？
毒はありますが、ゴキブリや小虫を捕食してくれる益虫だそうです…それでも気をつけてくださいね。
もちろん、ゲジにはクラブハウスからは退去していただくようお願いしました。
ところで、最近「フナ虫」を見かけなくなりましたが、
どうしたのでしょうか？

